



足もとを見よ

福島市大森 円通寺住職

吉岡棟一



〔筆者紹介〕

吉岡棟一・よしおかとういち

- 大正 三年 福島市に生まれる
- 昭和 九年 福島師範学校卒業、小学校教員五年
- 同 十五年 文部省構内社会教育学院卒業
- 同 十六年 駒沢大学仏教学部卒業、円通寺住職
- 同 二十四年 福島県連合青年会副会長
- 同 三十二年 福島ルンビニー幼稚園開設
- 同 三十五年 曹洞宗福島県宗務所長、以降三期
- 同 四十年 福島県史編集委員
- 同 四十一年 ベトナムに渡り、釈迦休戦成立、難民二十三名を日本に招く
- 同 四十二年 ベトナムに平和の鐘を贈る
- 同 四十三年 曹洞宗宗議会議員当選、以降七回当選
- 同 四十五年 県文学賞受賞
- 同 四十八年 曹洞宗教学部長、駒沢大学理事長
- 同 五十六年 曹洞宗宗議会議長、愛知学院大学理事長
- 平成 二年 曹洞宗宗議会議長、愛知学院大学理事長

私は外国に行くことが多い。ベトナムだけでも二十六年も行き、百回以上も外国に行った。外国に行くと、日本では知らなかったことを多く体験する。一昨年、米国のロサンゼルス市内のリトル東京を歩いていたら、子供たちが五、六名、私のそばにやってきて握手を求め「一休さん？」ときくので、どうして一休さんを知っているのかと尋ねたら、テレビで見たという。日本のテレビ番組が、米国で放映されているのである。私は外国に行くときは、頭を剃って、和服姿、草履で行くので、日本人であることがすぐ分る。外国人は、戦争に敗れて、食うものもなかった日本人が、世界で一番の金持ちになり、一番の長寿国になった日本に、異常な関心をもつのは当然なことである。

米国のカリフォルニア州の州部であるサクラメントは、会津のおけいという娘さんが、日系人として、始めて移住し、十九歳の若さで亡くなった地であるが、この州庁に行ったところ、米人から声をかけられ、公園に連れてゆかれ、そこに咲くツバキの説明を求められた。実は